

福島第一原子力発電所の状況

2015年4月6日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (4/6 11:00 時点)

| 号機 | 注水状況 | | 原子炉压力容器 下部温度 | 原子炉格納容器 圧力 | 原子炉格納容器 水素濃度 |
|-----|-----------|-------------------------------|-----------------|---------------|-----------------|
| 1号機 | 淡水 注入中 | 炉心ブレイ系：約2.0 m ³ /h | 16.5 | 3.7 kPa g | A系： 0.00 vol% |
| | | 給水系：約2.5 m ³ /h | | | B系： 0.00 vol% |
| 2号機 | 淡水 注入中 | 炉心ブレイ系：約2.3 m ³ /h | 22.9 | 6.89 kPa g | A系： 0.07 vol% |
| | | 給水系：約2.0 m ³ /h | | | B系： 0.06 vol% |
| 3号機 | 淡水 注入中 | 炉心ブレイ系：約2.4 m ³ /h | 19.7 | 0.21 kPa g | A系： 0.06 vol% |
| | | 給水系：約1.8 m ³ /h | | | B系： 0.06 vol% |

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (4/6 11:00 時点)

| 号機 | 冷却方法 | 冷却状況 | 使用済燃料プール水温度 |
|-----|----------|------|-------------|
| 1号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 16.5 |
| 2号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 20.0 |
| 3号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 16.2 |
| 4号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 12.1 |

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルヘビドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

| 号機 | 排出元 | 移送先 | 移送状況 |
|-----|---------------|--------------------|---------------------------|
| 2号機 | 2号機 タービン建屋 | 集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋) | 3/26 10:14 ~ 移送実施中 |
| 3号機 | 3号機 タービン建屋 | 集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋) | 4/1 10:03 ~ 4/6 9:52 移送実施 |

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (4/6 11:00 時点)

| 設備 | セシウム 吸着装置 | 第二セシウム 吸着装置 (サリー) | 淡水化装置 (逆浸透膜) | 淡水化装置 (蒸発濃縮) | 多核種除去設 備(ALPS) | 増設多核種 除去設備 | 高性能多核種 除去設備 |
|----------|-------------------|-------------------------|------------------|------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 運転 状況 | 運転中 ^{*1} | 運転中 ^{*1} | 水バランスを みて断続運転 | 水バランスを みて断続運転 | ホット試験中 ^{*2} | ホット試験中 ^{*2} | ホット試験中 ^{*2} |

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5. その他 >

- ・2015/2/5 ~ 3号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
 - 4/2 ~ トンネル天井部の充填作業を開始。
- ・2015/2/14 ~ 4号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
 - 2015/2/24 ~ 2号機海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を開始。
- ・2014/6/2 ~ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2015/3/16 ~ 1号機原子炉建屋カバー解体工事にに向けて準備工事を開始。
- ・2015/4/2 13:00 頃、福島第一原子力発電所第二保管施設において、協力企業作業員がボックスカルバート*内に収納されている高性能容器(HIC)の確認作業を実施していたところ、HICの上部に溜まり水があることを確認。
 - *ボックスカルバート 鉄筋コンクリート製の箱型保管施設。ボックスカルバート内にはHIC 2基を収納。
 - その後、HICに触れた際、HIC蓋外周部のベント孔より水が滴下したことを確認。なお、ボックスカルバート外への漏れはなく、当該作業にあたった15名の作業員への汚染はない。現場確認の結果、2箇所のボックスカルバート(AJ5、AJ8)において、水溜まりがあることを確認。
 - 【AJ5】床面(約15L)およびHIC蓋外周部(約10L)(1基)
 - 【AJ8】HIC蓋外周部(約1L)のみ(1基)
 - また、AJ5、AJ8ボックスカルバート内のHIC蓋外周部に溜まった水の分析結果は以下のとおり。

| | |
|---|---|
| 【AJ5】 | 【AJ8】 |
| セシウム 134 $1.9 \times 10^0 \text{Bq/cm}^3$ | セシウム 134 $1.9 \times 10^0 \text{Bq/cm}^3$ |
| セシウム 137 $6.8 \times 10^0 \text{Bq/cm}^3$ | セシウム 137 $7.1 \times 10^0 \text{Bq/cm}^3$ |
| 全ベータ $3.0 \times 10^3 \text{Bq/cm}^3$ | 全ベータ $3.9 \times 10^3 \text{Bq/cm}^3$ |
 - [参考]
 - HIC内の水については実際に分析を行っていないが、 10^5Bq/cm^3 の原水(主にストロンチウム)を100倍程度濃縮した水(10^7Bq/cm^3)を収納する設計となっている。
 - なお、これまでボックスカルバート内部は定期的な点検をしており、3/30の点検にて協力企業がクレーンカメラにてAJ5ボックスカルバート内部床面に水溜まりがあることを確認し、3/31に当社は報告を受けている。3/31に当該部のスミヤ採取・測定をした際に、目視にてHIC蓋外周部に水溜まりがあることを確認しているが、当社はHIC上部からの漏れは考えづらいこと、また、スミヤ測定結果においてHIC蓋外周部は100kcpm超であったものの、床面は34kcpmであったことから結露水と判断していた。ただし、線量があったことから、念のためボックスカルバート内の確認作業を翌日以降も継続とした(4/1は降雨の影響により、ボックスカルバート内に雨水が流入するため、作業を中止)。
 - その後、4/2にHIC蓋外周部の溜まり水を回収した際、HIC蓋のベント孔から水が出てきたことを確認。また、他のボックスカルバート内も確認できる範囲で点検を実施したところ、AJ8ボックスカルバート内のHIC蓋外周部に少量の水溜まりがあることを確認した。
- 4/3 水溜まりが確認された2基のHIC以外について、以下の観点で7基のHICの現場調査を実施したが、漏れは確認されなかった。
 - ・高線量の内容物を収納したHIC
 - ・保管期間の長いHIC
 - ・構造に違いのあるHIC
- 4/4 29基のHICの現場調査を実施した結果、2基のHICの上蓋に水溜まりを確認。また、他の27基のHICの上蓋には水溜まりがないことを確認。
 - 引き続き、本事象の原因究明を含めた調査を実施していく。
- ・2015/4/4 地下水流入抑制対策による地下水位の低下に伴い、建屋滞留水水位を低下させる必要があり、建屋内に滞留水移送ポンプ並びに水位計の設置を進めている。新たに削孔した穴より水位を測定した結果は2015/3/26に公表済みであり、このうち、1号機タービン建屋所内ボイラー室水位はO.P.4900mm(3/17測定)である。一方、周囲の地下水位は継続監視しているが、最近、降雨量が少ないことから低下傾向が見られ、4/4に測定した同ボイラー室近傍のサブドレンN1の水位は、O.P.4917mmだった。なお、同ボイラー室は他のエリア(建屋内)からの流入がない(連通性がない)こと、および建屋外からの地下水の流入がないことを確認している。
- 4/5 12時時点におけるサブドレンN1の水位はO.P.4943mmであり、水位が4/4から上昇。4/5は福島第一原子力発電所構内において降雨が見られている。
 - 今後も水位監視(所内ボイラー室水位およびサブドレン水位)を継続するとともに、準備が整い次第、所内ボイラー室からの滞留水の移送を行う。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/25]については、同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。4/5 10:18、海洋への排水を開始し、同日 10:25 に漏えい等の異常がないことを確認。同日 16:17 に排水を停止し、異常のないことを確認。排水量は 1,512m³。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- < H4エリア周辺のサンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < H6エリア周辺のサンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況】

- < 地下水観測孔サンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- < 地下貯水槽サンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上